

## 平成27年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q) に係る事業実施報告書

### 1. 留学生獲得のための海外プロモーション

#### 【事業実績】

日時：平成28年3月28日(月)～3月30日(水)

実施国・場所：台湾；高雄医学大学看護学部

派遣教職員名：木下由美子講師

実施したプロモーション活動の内容

プロモーション活動として、作成したパワーポイント資料を用いてプレゼンテーションを実施し、昨年度保健学科で新規に作成した広報用DVDを視聴し説明した。九州大学を幅広く広報するために、資料としてDVDとパンフレット類を先方に渡し、訪問時に広報できなかった学年への広報とした。さらに、九州大学への留学希望があった場合の連絡先等を依頼した。

集客数：4名

高雄医学大学看護学部の学部長をはじめ、各責任教員(下記)と留学生獲得に向けて話し合いを行った。

Dean of College of Nursing, Professor, Ruey-Hsia Wang,  
Director of School of Nursing, Professor, Fan-Hao Chou,  
Head of Teaching Division, Assistant Professor, Dr. Li-Min Wu,  
Head of General Affairs Division, Assistant Professor, Dr. Yi Liu,

#### 【今後の展開】

今までに実施されている看護短期留学 nursing overseas program の充実、拡充や co-teaching program を通じて、本校との交流関係の強化(学際的・人材的)して、短期・正規の留学へ導いていく

### 2. 部局独自の短期留学(派遣・受入)プログラム開発

#### 【事業実績】

日時：平成28年3月6日(日)～3月9日(水)

実施国・場所：タイ；マヒドン大学看護学部

対応者：Dr. Yajai Sitthimongkol, Dean and Associate Professor

Dr. Supapak Phetrasuwan, Director of Center for International Collaboration and Networking

Dr. Sasima Kusuma na ayuthya, Associate Professor, Associate Dean for Education

Dr. Tassanee Prasopkittikun, Associate Professor, Assistant Dean for Graduate Studies

Dr. Prangtip Chayaput, Assistant Professor, Associate Dean for Research

Mr. Weha Kasemsuk, Lecture, Assistant Dean for Student Development

派遣教職員名：大池美也子教授、金岡麻希助教

協議内容：

学部生の短期交換留学の平成28年度内の実現に向けて詳細を協議した。航空費、国内移動費、滞在費、食費といった予想負担額や、負担配分についても話し合いを行った。さらに派遣、受け入れともに、両校の年間スケジュールやカリキュラムを合わせて、実施可能な日程調整を行った。また、キャンパスや病院、学生寮周辺の利便性や安全性の確認を行

い、今後の交流に向けた具体的な情報を得た。

特筆すべき成果：

交換留学実施の合意に留まらず、実際の人数や日程、また費用の負担についても詳細を決めるに至り、交換留学の実現を確実にすることができた。

#### 【今後の展開】

平成28年度九州大学・マヒドン大学看護短期交換留学

\*受け入れ

平成28年7月17日（日）～7月31日（日）（15日間）

受け入れ学生：マヒドン大学看護学部3年生2名

予定プログラム：学内講義、演習への参加、九州大学病院での総合看護実習への参加、病院見学、福岡市ふくふくプラザ見学、City tour などを行い、日本とタイにおける社会・文化的な共通性と相違性を通して医療・看護への理解を深める。

\*派遣

平成28年8月28日（日）～9月11日（日）（15日間）

派遣学生：看護学専攻3年生2名

特筆すべき成果：平成26年度、27年度の訪問における学部生を対象とした Nursing overseas program が平成28年度に実り、双方の大学が学生を派遣・受け入れを開始することとなった。

日時：平成28年3月28日（月）～3月30日（水）

実施国・場所：台湾；高雄医学大学看護学部

対応者：Dean of College of Nursing, Professor, Ruey-Hsia Wang

Director of School of Nursing, Professor, Fan-Hao Chou

Head of Teaching Division, Assistant Professor, Dr. Li-Min Wu

Head of General Affairs Division, Assistant Professor, Dr. Yi Liu

派遣教職員名：木下由美子講師

協議内容：

看護学分野独自の短期留学（派遣・受入）プログラムの検討と具体的な派遣・受入の日程や人数、予算について検討した。平成29年1月には、一昨年と同様に高雄医学大学の学部生9名程度で、約2週間の九州大学訪問を計画していたが、高雄医学大学の助成金の関係上不可能となったことが報告された。

特筆すべき成果：

平成29年3月には、九州大学の学部生2名程度を高雄医学大学側が受け入れ可能であることが確認できた。内容は、講義・実習参加型のプログラムであり、1週間程度可能であることが確認された。

#### 【今後の展開】

すでに高雄医学大学との交流実績はある。幸いにも、JASSO の受け入れが採択したので、今後は、平成28年11月～平成29年1月にかけて、高雄医学大学看護学部生6名を受け入れ、学生は2週間程度の講義・実習参加型のプログラムを実施予定である。

さらに、平成29年3月は、九州大学医学部保健学科看護学専攻の学部生2名程度を高雄医学大学に派遣し、講義・実習参加型のプログラムを受講予定である。

双方とも予算（助成金）の確保ができれば今後も積極的な交流が可能であることが確認された。

日時：平成28年3月4日（金）～3月10日（木）

実施国・場所：USA；ハワイ大学看護学部

対応者：Associate Professor, Dr. Kristine Qureshi / Senior Director, Global Public Health  
Nursing Program

Associate Professor, Dr. John Casken / Specialist

派遣教職員名：谷口初美教授

協議内容：大学院生の Summer School の exchange program 開発：単位互換性、対象学生、参加人数、英語能力 TOEFL、プログラム内容、授業料、宿泊先等が協議された。

特筆すべき成果：大変興味深いプログラム開発であったが、授業料に関して問題

大学間協定はあるが UH として授業料は必要

1単位 \$ 1,500 (2016年) 2単位となれば \$3,000 (日本円で1単位:172,500円、2単位:345,000円 \$1:115円で換算) となる。

日本と米国の授業料があまりにもかけ離れており教育と言う事がいかに高価なものであるか再確認した。また、大学の学部がビジネスモデルとして教育プログラムを商品化し、資金を外部から稼ぐ事がシステム化されていることに改めて気付かせられた。

#### 【今後の展開】

今回、本学の魅力的な大学教育プログラムを開発する必要がある事を学んだ。

平成28年度の JASSO の受入れが採択されたのでハワイ大学の学生2名を本学に2週間の Nursing Overseas program に招待する事となった。日本の医療、看護の現状を学生の視点から見、そして、本学の学生との交流をすることで日米の医療・文化交流の新たな展開となることが期待される。

注)・配分を受けた項目について【事業実績】【今後の展開】を記述して下さい。

・配分を受けていない項目については削除可。記述内容に応じてフォーマット変更可。

・特に、本学の「スーパーグローバル大学創成支援」の成果として、特筆すべきと考えられる事業については、より詳細に記述して下さい。(必要に応じ、添付書類なども可)

## 平成27年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q) に係る事業実施報告書

### 1. 留学生獲得のための海外プロモーション

#### 【事業実績】

日時：平成27年12月18日（金）～12月22日（火）

実施国・場所：タイ・チュラロンコン大学、マヒドン大学

派遣教職員名：杜下淳次教授、佐々木雅之教授、藤淵俊王講師、三輪健太助教

実施したプロモーション活動の内容：チュラロンコン大学とマヒドン大学のそれぞれの大学で医用量子線科学分野の教員の研究紹介と保健学部門の紹介（2時間程度）を行った。

集客数：チュラロンコン大学：約100名、マヒドン大学：約100名

成果：プロモーション活動の結果、平成28年度4月から4名の学部生をマヒドン大から受入ることになった。さらに、平成28年9月から両校に向けて1名の大学院修士課程学生を4カ月弱の期間、派遣することの了解が得られた。また、平成28年度12月から平成29年3月の間に複数名の学生を30日以内の短期間の派遣することの了解が得られた。以上のように従来から大学間交流協定を締結している2つの大学を対象として実施したプロモーション活動は、本学学生を伴ったことにより、一層の活性化が図られ、医学部保健学部門医用量子線科学分野の国際交流の発展に大きく寄与した。

日時：平成28年3月13日（日）～3月17日（木）

実施国・場所：タイ・チュラロンコン大学、マヒドン大学

派遣教職員名：有村秀孝教授

実施したプロモーション活動の内容：チュラロンコン大学では、医学物理に関する講義（6時間）を行い、担当教員と現地学生と交流しながら、交換留学（派遣と受入）に関する情報交換を行なった。また、マヒドン大学でも同様な講義（2時間）を行い、お互いの学生の交換留学などについて意見交換を行なった。

集客数：約50人

成果：訪問の際、1名の学生から九大への留学希望の打診を受けたが、その後学生の都合が合わず、九大への留学は叶わなかった。一方、有村秀孝教授はチュラロンコン大学の博士課程の大学院プログラムの非常勤講師として申請中で、密な交流が続く予定である。したがって、留学生獲得活動は継続する。

日時：平成28年3月21日（月）～3月23日（水）

実施国・場所：韓国・高麗大学校、延世大学校

派遣教職員名：杜下淳次教授、藤淵俊王講師

実施したプロモーション活動の内容：本学学生の海外派遣の可能性についての相談と、本学のプロモーション活動、なお、延世大学校については先方の先生の都合で面会が叶わなかったが、メールでプロモーション活動と学生派遣について依頼し、前向きな検討結果が得られた。

集客数：2名（教員）

成果：韓国・高麗大学校で実施した本活動により、本学学生の韓国への海外派遣の確保が約束され、その結果、平成28年9月以降に、本学大学院学生3名の短期研修と、本学大学院学生1名の長期派遣（約1年）を受け入れていただけることに成功した。

#### 【今後の展開】

医学部保健学科放射線技術科学専攻では、国家試験取得を目指した教育と、放射線技術科学に関する研究を行っている。その内容は、アジア各国が模範とすべき内容と実績を含んでいる。今後、留学生獲得のための継続したプロモーション活動を続けるだけでなく、当専攻で行っている教育および研究内容を、直接触れていただく機会を増やしたいと考えている。そのために、まずは、平成28年度内に、九州大学でアジアの主要大学の教員を招聘し、放射

線技術と医学物理に関する国際シンポジウム（平成29年2月3日開催予定）を開くことで当該プログラムから派遣する大学（協定校）の拡充を図る予定である。海外留学支援制度（協定派遣）の留学生派遣の奨学金を獲得し、本学学生の派遣に向けて協定校に対して打診中である。さらに、同制度（協定受入）の留学生受入の奨学金を獲得し、留学生獲得に向けて協定校に対して打診中である。また、有村秀孝教授はチュラロンコン大学の博士課程の大学院プログラムの非常勤講師として申請中で、留学生獲得活動は継続する。

一方、これまでに九州大学が学術交流協定を締結している海外の著名な大学に対して、本学学生を伴うプロモーション活動を行うことで、留学生あるいは短期研修派遣先として実績を伸ばし、学生のグローバルな活動を積極的に展開したい。

## 2. 部局独自の短期留学（派遣・受入）プログラム開発

### 【事業実績】

1. 留学生獲得のための海外プロモーションと同時に行なったので、1を参照。

### 【今後の展開】

現在、以下の二つの新規プログラムを平成28年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）事業計画として申請中である。

#### 1. アジアを対象とした医療放射線技術交流とリーダーシップ形成プログラム（派遣）

大学院生の派遣候補校はタイのマヒドン大学、チュラロンコン大学、韓国の高麗大学校、延世大学校などである。以下のような計画で実施する予定である。

- (1) 1年で8名の学生をアジア諸国の協定校にそれぞれ1ヶ月派遣する予定である。派遣に伴い教員もプログラムを拡充するために大学を訪問する。
- (2) 九州大学でアジアの主要大学の教員を招聘し、放射線技術と医学物理に関する国際シンポジウム（平成29年2月3日開催予定）を開くことで当該プログラムから派遣する大学（協定校）の拡充を図る。
- (3) 派遣大学を新規開拓するため、協定校を中心に訪問する。

#### 2. 医学物理士養成のための大学院グローバルプログラム（受入）

本プログラムでは、アジア諸国から修士または博士課程の留学生を1年間受け入れ、大学院における医学物理学教育を行い、医学物理士を養成する。以下のような計画で実施する予定である。

- (1) 本プログラム参加学生には、プログラム開講科目だけでなく本学部・学府の講義受講を許可する。それとともに、留学生は医学物理に関する一つのテーマに関して、出身大学の指導教員と本学の指導教員の下で研究を行う。
- (2) 受入留学生を増やすために、アジア諸国の協定大学を訪問し、当該プログラムの広報活動を行う。

注)・配分を受けた項目について【事業実績】【今後の展開】を記述して下さい。

- ・配分を受けていない項目については削除可。記述内容に応じてフォーマット変更可。
- ・特に、本学の「スーパーグローバル大学創成支援」の成果として、特筆すべきと考えられる事業については、より詳細に記述して下さい。（必要に応じ、添付書類なども可）